

平成 27 年度 第 1 回 甲賀市環境審議会 議事摘録

開催日時 平成 27 年 11 月 25 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00

開催場所 あいこうか市民ホール練習室 3

出席委員 (敬称略)

竺文彦 (会長)、平井喜之 (委員)、門坂肇 (委員)、猪飼俊江 (委員)、
谷口秀治 (委員) 5 名

欠席委員 (敬称略)

徳田員 (委員)、平木隆久 (委員)、中本博之 (委員) 3 名

事務局 (敬称略)

正木副市長、吉村部長 (市民環境部)、藤村次長 (市民環境部)、村田課長 (生活環境課)、地平課長補佐 (生活環境課)、伊東係長 (生活環境課) 相原 (生活環境課)、田中 (生活環境課)、谷口 (生活環境課) 9 名
(株)地域未来研究所 (小西、貞松、奥村)

会議次第

- 1 市民憲章唱和
- 2 竺会長あいさつ、正木副市長あいさつ
(委員自己紹介)
- 3 議事
 - 第 2 次甲賀市環境基本計画等の策定について
 - ①諮問
 - ②策定方針 (案) について【資料 1, 2】
 - ③意識調査 (案) について【資料 3, 4, 5】
 - ④現計画の進捗状況について【資料 6, 7】
- 4 次回 (第 2 回) 甲賀市環境審議会について
- 5 その他

配布資料

- 資料 1 第 2 次甲賀市環境基本計画策定方針 (案)
資料 2 甲賀市環境基本条例
資料 3 環境に関する市民意識調査 (案)
資料 4 環境に関する児童生徒意識調査 (案)
資料 5 環境に関する事業所意識調査 (案)
資料 6 甲賀市環境基本計画執行状況
資料 7 甲賀市の環境概要 (平成 26 年度版)

会議内容

●開会（村田生活環境課長）

- 1 市民憲章唱和
- 2 会長あいさつ、正木副市長あいさつ

<委員自己紹介>

- 3 議事
 - ・正木副市長より会長へ諮問書の手渡し
 - ・以後の議事進行は会長へ。

（会長）

- ・今、市長から、この委員会に環境基本計画の策定の諮問を受けたので、これから計画策定に向けて審議をしていきたい。
- ・では、まず事務局から資料説明をお願いします。

（事務局）

- ・最初に、この審議会の公開の件で説明をさせていただく。市の附属機関である審議会は会議内容の公開が決められており、この審議会の記録（議事内容は要約、発言者は匿名）と資料は、後日、市のHPで公開することになっている。また、この審議会も市民から傍聴希望があれば受け入れることになっているので、ご了承いただきたい。

（会長）

- ・議事録公開の件は、匿名・要約とはいえ、委員の発言と記録に齟齬がでるといけないので、公開の前には各委員に確認をお願いしたい。

（事務局）

- ・議事録等の確認の手順を踏ませていただく。

（会長）

- ・傍聴を許可するとなると一定の傍聴ルールも必要なので、そのルールを文書化しておく必要がある。

（事務局）

- ・次回には傍聴ルールを決めてお示しさせよう。

（会長）

- ・本日の資料の説明をお願いしたい。

(事務局)

→ 資料1 第2次甲賀市環境基本計画策定方針(案)の説明

(会長)

- ・ 第2次計画を策定するにあたっての全体像を説明いただいた。今回は第1次の計画があるので、それがベースになると思う。
- ・ 策定スケジュールは、今年度3月に骨子を作成し、来年度3回程度の審議会を開催して計画(案)を作成・答申、さらにパブコメ、庁内調整を行なった上で、計画決定することのこと。
- ・ 意識調査の実施についても本日の議題に上がっているが、これも白紙の状態で審議していただくこととしたい。何か意見があれば発言をお願いしたい。
- ・ では、最初に「①策定方針」について意見をいただきたい。

(委員)

- ・ 資料に市民参加、策定体制の記述があるが、私は、まず第1次計画の実施状況を評価することが大切だと考えている。アンケート調査をして市民意見を反映することも重要だが、何よりも第1次計画の実施状況の把握が重要と考えているので、策定スケジュールに入れるべきだ。

(会長)

- ・ その件については、本日の「資料6 甲賀市環境基本計画執行状況」があるので、後ほど、事務局からこの説明をお願いしたい。

(委員)

- ・ 私は、第2次計画を策定するに当たって、第1次計画で、何ができていて、何かできていないのか、あるいは、何がよくて、何が悪かったのかという評価を入れることが重要だと思う。

(会長)

- ・ 議事④の「現計画の進捗状況について」(資料6)の説明をお願いしたい。

(事務局)

- ・ 現計画の「評価」を策定プロセスに入れることについては、資料の中に明記することにした。

～資料6 甲賀市環境基本計画執行状況の説明～

(会長)

- ・ 協議事項の「④現計画の進捗状況」について質問等があればいただきたい。

(委員)

- ・ 私は、今日、甲賀市の公式サイトでの環境基本計画に関する情報を確認しようとしたが、確認で

きた情報は「環境報告書」として2007年～2011年までの報告書だけ。甲賀市環境基本条例の第14条に「年次報告を作成し公表する」と決められているのに、2012年以降の報告書は公開されていない。

- ・ 第1次環境基本計画の中には「策定委員会からのメッセージ」があり、そこには「環境基本計画の成否は、この計画に示した17のプロジェクトが進むかどうかにかかっている。」と書かれてある。また、「甲賀市には生ごみの回収・堆肥化のリサイクル分野の先進プロジェクトがあるので、それを倣って進めて欲しい」とも書かれてある。さらに、第1次計画策定時の審議会の答申書には、「この計画は、計画立案・実践・点検評価・見直しのサイクルにより実施し、常にスパイラルアップを念頭に置きながら取り組むこと」と書かれてある。私は、これらは大変重要なことと考えているので、次回、計画の進捗状況を報告していただく際には、この「策定委員会からのメッセージ」と「環境審議会の答申文章」の趣旨に沿って進捗・評価の報告をお願いしたい。
- ・ この17のプロジェクトについては、プロジェクト毎にプロジェクトチームを立ち上げると書いてある。なので、それぞれのプロジェクトチームが、いつ立ち上がって、年度毎にどのような活動をしたのかを、資料6の進捗状況欄に入れてもらい、それを次回に示して欲しい。

(会長)

- ・ これまでの計画の進捗状況のチェック、具体的な活動の評価をすべきとの意見であるが、これらの点については、事務局の考え方を聞きたい。

(事務局)

- ・ 本日、そのような形で資料を提示できればよかったのだが、まだ準備できていないので、次回の審議会には、そのようにまとめた形で報告をさせていただきたい。
- ・ ただ、毎年、事業経緯については「環境概要」の冊子を作成する段階において、一定把握するようにしているので、今回は、その内容を報告させていただく。

(会長)

- ・ 私の関連分野から言えば、「木質バイオマス」なども検討委員会ができて一定進んでいるし、先ほどのライトダウンキャンペーンとしての「キャンドルライトコンサート」も開かれていると聞いたので、一定の事業は進んでいると思う。ただ、今回、新しい計画を策定するので、第1次計画全体を通しての「評価・まとめ」をしていただければと思う。他に意見はありますか。
- ・ 意見が無いようなので、次回までに「計画の進捗状況や評価」が分かるような資料を準備して報告をしていただきたい。

(委員)

- ・ それと併せて、資料1の「2 計画の位置づけ」に書かれてあるように「甲賀市地域新エネルギービジョン」、「甲賀市地球温暖化対策実行計画(ラブアースこうか2012)」も同時に見直しを行うとのことなので、これについても、計画の進捗と評価が分かるような資料で年次報告を

お願いしたい。

(会長)

- ・ 先ほども、関連計画の統合も検討するとの話もあったが、計画を統合するにせよ、しないにせよ、各現行計画の進捗状況の評価をすることは大切なことだと思う。
- ・ 計画やプロジェクトの進捗状況を公開し、市民に関心を持ってもらえるよう努力することは重要なので、適宜、資料等を情報公開しながら計画策定を進めていきたい。
- ・ パブリックコメントも、単に手続き上のものだけに留めるのではなく、市民に計画内容を本当に知ってもらおうという努力はすべきだろう。
- ・ 意識調査も、調査を実施する行為自体が、市民意識を喚起することにつながるのので、その視点からも調査内容を考える必要があると思う。
- ・ 他に、策定方針に関連して意見・感想等があれば発言いただきたい。

(委員)

- ・ 第1次の環境基本計画の策定時は、「環境審議会」とは別に「計画策定委員会」を立ち上げており、策定委員会から審議会に計画案を上げていたが、もし、今回、策定委員会を立ち上げないのであれば、この審議会が策定委員会の役目を兼ねるということになるのか？ もし、それを兼ねるのであれば、今後3回の開催で十分な審議ができるのか？

(事務局)

- ・ 提案させて頂いた「策定方針」は「案」であり、開催回数が3回で十分でないとなれば、開催頻度を増やすことも検討したい。

(委員)

- ・ 私の発言趣旨は、この審議会にどのような機能を持たせたいのかということ。それに応じて必要な会議回数を設定する必要がある。
- ・ 第2次計画を策定するに当たっては、行政側の取り組みスタンスを明確にしてもらった上で、スケジュール等の設定をすべきである。計画策定の進め方、検討組織のあり方、市民意識の把握も含め、会議回数だけではなく、計画の中身の濃さを伴う進め方を検討していただきたい。

(会長)

- ・ 計画本体をこの審議会で策定するイメージなら、かなりの検討時間を要することになるが、事務局で計画原案をつくってもらい、その内容に対して意見をもらいたいというのであれば、それなりのスケジュールになると思う。
- ・ 今回、第1次計画があるのでゼロベースから計画策定にはならないが、この審議会からの意見を取り入れた形で原案を作りたいのなら、この審議会が原案づくりにどこまで関わるのかをハッキリさせる必要がある。
- ・ ただ、何も原案的なものがない状態で意見を述べるのは難しい。原案の原案的なものを事務局

で作ってもらって、それに対して、我々の意見を盛り込んで計画原案とするというような方法は取れないか？ 作り方について他に何か意見はありませんか。

(委員)

- ・ 確かに、今回は第1次計画内容がベースになると思う。それを元にして、審議会で出された意見、市民意識などを盛り込み、第1次計画の内容をバージョンアップしていくことになるのではないか。そのためには、事務局の方で原案のたたき台をつくってもらって、それに対して我々委員が意見を言い、原案を作成するという形になると思う。

(委員)

- ・ これまで第1次基本計画を進めてきて、今度、これを見直して、今後8年間の計画を策定することになるけれども、いままでの計画がどのように動いてきたのかという評価を踏まえた上で、計画を見直すという形は必要。
- ・ その際、審議会そのものが策定委員会の役割を担うのか、それとも、提案された原案を審議するのが役割なのか、今はその辺りが不明確なので、審議会の位置づけをハッキリとさせてもらいたい。

(会長)

- ・ 来年度に審議会を3回開催するというスケジュールになっているけれども、これで計画作成をしていくのは確かに難しい。原案をつくる段階でこの審議会がどこまで関わるのかという点がポイント。
- ・ 事務局のスケジュール(案)では、3月に「計画骨子案等の検討」、4月に「計画等素案の検討」、7月に「基本計画(案)の検討」となっている。来年度は審議会を3回程度開催する予定になっている。今年度は、1月、2月に意識調査を実施・分析し、3月に計画骨子案を作成する予定なので、骨子案をこの審議会で審議するというスケジュールになっている。
- ・ その骨子案に、この審議会の意見がどこまで反映されているのが重要だ。もし、3月に出される骨子案が我々の思いと異なると、その見直しにかなりの時間を要することになる。だから、最初の骨子案づくりの段階から、委員が考えている内容をしっかりと盛り込んでもらえるような方法を考えてもらいたい。

(委員)

- ・ 何もないと意見も言い難いのも事実。先ほども言ったように、第1次計画に書かれてある17プロジェクトの進捗状況と評価を事前に示してもらえれば、それに対して意見を言うことはできると思う。

(会長)

- ・ 意識調査と並行してもいいので、骨子案をつくる前の段階で、第1次計画の評価を、審議会で協議する機会を設定してもらい、それを元に骨子案を作成するというプロセスにしてもら

えるといいのではないか。その方が、結果的に手戻りが少なくなる。

- ・ 例えば、3月に開催予定の審議会を前倒しして、現行計画の評価について各委員の意見を聞くというプロセスを入れてもらって骨子案を作成するというスケジュールは組めないか？ その結果、骨子案ができるのが4月・5月になっても問題はないと私は考えるが、事務局はどう考える？

(事務局)

- ・ 今の意見を受けて、策定スケジュールを再検討する。審議会開催が日程的に難しいようであれば、例えば、資料を事前に各委員に送付させていただき、意見をもらうなどの方法もあるので、それも含めて見直しを行いたい。

(会長)

- ・ 骨子案作成の前に何らかの方法で、各委員に骨子案に盛り込むべき内容について意見を聞く機会を設けてもらうということによろしいか。その際には、第1次計画の進捗状況と評価の情報を示していただくということにして欲しい。
- ・ 意識調査を実施するにも、調査内容の是非を各委員に確認する必要があるので、それも含めて策定スケジュールに反映させてもらいたい。各委員はそれでよろしいか？

(委員)

- ・ 事前に各種情報をいただけるという理解でよろしいか。

(会長)

- ・ 審議会が開催できればいいのだから、事務局や各委員の都合もあるので、会議開催が難しい場合は事前に情報をもらい、意見を提出することにした。
- ・ では、次に「意識調査（案）について」事務局から説明をお願いしたい。ただ、まだ意識調査を実施すると決めたわけではないので、調査の必要性や内容も含めて、検討したい。

(事務局)

～議案「③意識調査（案）について」の説明～

(会長)

- ・ この意識調査の方法は、無作為抽出で郵送配布か？

(事務局)

- ・ 一般の市民意識調査は郵送配布・郵送回収を考えている。

(会長)

- ・ 意識調査をする必要があるのかという点と、もし実施するのであればその内容に対する意見

をもらうことになるが、本日は残り時間もあまりないので、まず意識調査を「実施するか」、「実施しないか」について意見をいただきたい。

- ・ 「必要ない」となれば止めことになるし、「やってもいい」ということになれば実施することになる。その場合、調査項目に対する意見は、後日、各委員から事務局に FAX 等で意見を出して欲しい。
- ・ 意識調査の必要性について意見を頂きたい。
- ・ この項目は、前回実施した調査項目など、何か雛形があるのか？

(事務局)

- ・ 第1次計画策定時に実施した調査をベースに、今の社会状況下における課題認識を入れて作成している。

(委員)

- ・ この意識調査は何のために実施するのかを明確にすべきだと思う。例えば、意識調査を第2次の計画内容に反映させるためにするのと、第1次計画の評価を得るためだけにするのとでは調査項目は異なると思う。意識調査を実施するのであれば、その目的をハッキリさせておくべきで、漠然とした調査であるのなら実施する意味はあまりないと思う。

(会長)

- ・ 調査の目的について、事務局の考え方はどうか。

(事務局)

- ・ 調査の目的は、第2次環境基本計画を策定するに当って、市民の皆さんの環境意識の現状を知るためである。現在の基本計画を策定してから10年近く時間が経過する中で、環境問題のポイントや国や県の施策等も変わってきている。従って、環境関連の用語の認知度や市民の関心度などを聞くのと合わせて、第2次計画に反映させるべき施策の重点事項を見極めるための市民意識を知るための調査にしたい。

(委員)

- ・ 今の時期、色々な種類のアンケートが自宅に送られてくるが、あまり関心のないテーマであれば答えないことも多い。だから回収率を上げようとするなら、例えば、環境に関わるイベントや集いなどの現場に出向き、そこでアンケートをすれば、しっかりとした回答も期待できる。一般的な形式のアンケートであれば、回収率も半分くらいになることも多々あるので、何かもったいないと感じている。
- ・ 今の時代は、性別を聞くにあたって男性・女性の2択では、人権関係の問題が生じる社会情勢なので、例えば「あなたの性別をお書きください。→ ()」のような回答方法を考える必要があるのかも知れない。
- ・ 重点施策等をアンケートで知りたいということだが、単純なアンケート調査で施策の評価を把

握できるのかどうかは疑問に思う。

(委員)

- ・ 意識調査を「するか、しないか」の2択で言うと、私は「する」方がいいと思う。ただ、実際、自宅にアンケート調査が送られて来た時、項目数や内容を見た時に面倒と感じる人も多々いると思うので、もし実施するのであれば、項目数を落とすなど、もっと簡単にするとか、現場に出向いて聞き取りをするような方がいいと思う。

(会長)

- ・ 確かに性別の聞き方も難しい社会情勢だ。また、調査項目をよくばると回答されないこともあるので、できるだけ簡単な様式・内容で聞くことは必要だと思う。また、イベントや催し会場で環境に関心のある人に聞くのも意味あることだが、その場合、一般市民全体としての意識把握が困難になるので、そのあたりも含めて調査内容を検討してもらいたいと思う。
- ・ 意識調査を実施するという方向でいいか？

(委員)

- ・ 私は、アンケートの実施はよいことだと思う。なぜなら市民全体の環境に関する関心度を測るバロメーターになるから。例えば、前回調査の時の回収率は、市民は62%、事業所は33%、小中学生は100%となっている。この回収率の違いは、おそらく調査方法によるものだと思うが、今回、市民や事業所、児童生徒の関心度やその変化を把握するという意味においては、調査をやることは良いことだと思う。ただ、調査の中身は、計画にどのように活用するのかというイメージを持って検討すべきと思う。

(会長)

- ・ 調査を実施することに対して反対という意見はないので、調査をやる方向で行きたい。調査項目の中身については委員の意見もあると思うので、後日、各委員から事務局に意見を提出してもらい、事務局で調査内容を精査・修正していただきたい。
- ・ 私の意見としては、甲賀市の「生ごみ対策」は本市の売りだと思うので、その取り組みについての是非や感想・意見を聞いていただければいいと思う。
- ・ 終了時間も来たので、最期に次回の審議会の予定を話して欲しい。

(事務局)

- ・ 次回の審議会は、第1次基本計画の評価などを報告させていただきたいと思う。
- ・ 次回は、来年の2月末か3月末に開催したいと考えている。改めて日程調整を行いたい。

<閉会>

12:00 終了